



腎尿管全摘除術(月曜手術) 患者さんパスシート(No.1)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科		
入院予定期間	入院日	年	月 日
	退院日(予定)	年	月 日



月 日		
経過	入院1日目(手術前々日)	2日目(手術前日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> 手術に臨むための心身の準備をしましょう。 手術や麻酔の目的について理解しましょう。 手術に伴う転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 麻酔について不明な点は医師や看護師に伝えましょう。
検査		<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科の診察があります。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 毎日排尿回数や排便状況を確認します。 	
観察	<ul style="list-style-type: none"> 尿の状態(色、量)を観察します。 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> 24時以降、食べたり飲んだりすることはできません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません。病棟を30分以上離れる場合はお伝え下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後、排液の管が挿入中は入浴が禁止となります。手術前日に入浴しましょう。
薬	<ul style="list-style-type: none"> お薬を内服されている方は、お薬手帳と一緒に2週間分程度お持ちください。医師、薬剤師が確認し継続するかどうか確認します。抗凝固薬内服中の方は看護師へ伝えて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 夕食後に下剤を内服して頂きます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活、手術について看護師が説明します。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術についての確認を行います。不安なことや疑問点がありましたら、看護師へお尋ねください。 —手術に必要な物品— ・浴衣1枚 ・T字帯1枚 ・腹帯1枚(着替え用にもう1枚あると便利です) ・弾性ストッキング(病棟にて用意します)

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(月曜手術) 患者さんパスシート(No.2)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日	/	
経過	3日目(手術当日:手術前)	3日目(手術当日:手術後)
達成目標	・術前処置を受け、手術に向けての準備をしましょう。	・身体の苦痛がある時には我慢せずに看護師に伝えましょう。
検査		・手術後に採血をします。
排泄	・排便状況を確認します。	・排尿の為の管が入ります。 ・排便はベッド上で差し込み便器を使用し行います。
観察		・尿の状態(色、量)を観察します。 ・痛みの程度を観察します。 ・酸素終了まで1時間毎に体温・血圧・脈拍の測定があります。
食事	・食事、水分はとれません。 ・うがいをすることはできます。	・術後当日は禁食です。 ・飲水は酸素終了後より可能です。
薬	・朝、少量の水で薬を内服して頂くことがあります。	・24時間点滴を行います。 
活動	・義歯・貴金属類は全て外し、浴衣に着替えます。 ・男性は髭を剃りましょう。	・ベッド上安静です。 ・体を横向きに変えることはできません。管が繋がってきているため、最初は看護師が説明しながら介助します。
治療	・血栓予防のためのストッキングを着用して頂きます。 ・13時以降の手術の場合は、午前中に点滴を行うことがあります。	・酸素吸入をします。
説明指導	・貴重品は金庫に入れ、鍵をおかけ下さい。	・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせ下さい。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(月曜手術) 患者さんパスシート(No.3)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日	/ /
経過	4日目(手術後1日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 ・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。 ※ドレーン:お腹の中に入っている排液の管のこと。 ・看護師の介助のもと歩きましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜採血やレントゲンの撮影を行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管が入っています。 ・歩行できればトイレで排便が可能になります。 ※便秘気味な方は看護師にお伝え下さい。排便時に力んでしまうと出血を助長することがあるため、整腸剤を処方します。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・排液の管の状態(色、量、性状)を観察します。 ・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1~2リットルの飲水を目標 にして下さい。 ・お食事は排ガスが出てから開始となります。 ※流動食→五分粥→全粥→常食の順番で出てきます。術後専用の食事となるため常食となるまでは間食はお控えください。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師の介助のもと歩行を始めましょう。歩行の状況に応じて、その後も看護師の付き添いが必要か判断させていただきます。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き点滴を行います。 ・歩行できたら血栓予防の機械を外し弾性ストッキングを脱ぎます。 ・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・管が抜けないように気を付けましょう。 ①ベッドの柵に管が引っかからないように気を付けましょう。 ②衣類の着脱時などに、管が引っ張られないように気を付けましょう。 ・痛みや気分不快があれば、看護師にお伝えください。 ・食事再開後、腹痛や吐き気・お腹が張るなどの気になる症状があれば、看護師にお伝えください。





このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(月曜手術) 患者さんパスシート(No.4)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科		
入院予定期間	入院日	年	月 日
	退院日(予定)	年	月 日

月 日	
経過	5日目(手術後2日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 ・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。 ・活動範囲を広げましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血やレントゲン撮影を適宜行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ※便秘気味な方は看護師にお伝え下さい。排便時に力んでしまうと出血を助長することがあるため、整腸剤を処方します。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・排液の管の状態(色、量、性状)を観察します。 ・管を抜いた後は、出血や痛みがないか観察します。 ・痛みの程度を観察します。 
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1~2リットルの飲水を目標 にして下さい。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 ・病棟を30分以上離れる際はお伝えください。 
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴が終了します。 ・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせ下さい。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・管が抜けないように気を付けましょう。 ①ベッドの柵に管が引っかからないように気を付けましょう。 ②衣類の着脱時などに、管が引っ張られないように気を付けましょう。 ・痛みや気分不快があれば、看護師にお伝えください。 ・食事再開後、腹痛や吐き気・お腹が張るなどの気になる症状があれば、看護師にお伝えください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(月曜手術) 患者さんパスシート(No.5)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科		
入院予定期間	入院日	年	月
	退院日(予定)	年	月

月 日	
経過	6日目～7日目(手術後3日目～手術後4日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 ・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。 ・活動範囲を広げましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・採血やレントゲン撮影を適宜行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でも尿の色を注意して見て下さい。 ・排便時強く力まないようにして下さい。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・排液の管の状態(色、量、性状)を観察します。 ・管を抜いた後は、出血や痛みがないか観察します。 ・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1～2リットルの飲水を目標 にして下さい。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 ・病棟を30分以上離れる際はお伝えください。 ・ドレーンが抜けている場合はシャワーへ入ることができます。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の回復やお腹の動きを良くするためには、歩行が大切です。少しずつ活動範囲を広げていきましょう。 ・術後は体力の低下や痛みにより転倒しやすい状況です。歩行時は自分のペースで転倒に注意して歩きましょう。




このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(月曜手術) 患者さんパスシート(No.6)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日	
経過	8日目～12日目「退院日」(手術後5日目～手術後9日目「退院日」)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・活動範囲を広げましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 【退院時の達成目標】 <ul style="list-style-type: none"> ①発熱なく全身状態が安定している事 ②傷口に感染なく、閉じている事 ③排尿がある事
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後8日目に尿の管が抜けるか検査をします。検査結果で問題なければ尿の管を抜きます。管が抜けた後は1日の尿量を測定するため、尿をコップでとってください。 ・自分でも尿の色を注意して見て下さい。 ・排便時強く力まないようにして下さい。 
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・管を抜いた後は抜いた所からの出血や痛みがないか観察します。 ・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1～2リットルの飲水を目標 にして下さい。 ・制限はありません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。病棟を30分以上離れる際はお伝えください。 ・ドレーンが抜けている場合はシャワー浴可能です。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保険等の書類は退院後に本館1階Aブロック文書受付の窓口へ提出して下さい。(ただし、文書受付窓口は日曜、祝日は受付できません) ・緊急時は日本医科大学付属病院(03-3822-2131)の泌尿器科外来Bブロックまでご連絡下さい。 【退院後の注意点について】 <ul style="list-style-type: none"> ①尿の色が赤く変化し、継続するようであればご相談下さい。 ②尿量が減少し、お腹の張りや痛みが持続するようであればご相談下さい。 ③38.5度以上の熱が続くようであれば、病院へご連絡下さい。 ④傷口は毎日のお風呂で観察しましょう。熱をもっていたり、赤く腫れあがっていたり、膿のようなものが出ていたりしている時にはご連絡下さい。また傷口を洗う際は、泡立てた石鹸で優しく洗うようにし、強く擦らないようにしましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

排泄:

- ・尿が出なくなった場合や、残尿感、尿漏れが悪化した場合は病院受診して下さい。
- ・下記の血尿スケールでⅡ以上が続くような場合は病院を受診して下さい。
- ・日頃から便秘にならないように気を付けましょう。



食事:

- ・お酒や刺激物は控えて下さい。
- ・退院後は水やお茶を1500～2000mlは飲むよう心がけましょう。

活動:

- ・散歩といった日常生活上の運動は行っても構いません。
- ・激しい運動は次回の外来日に担当医師へ確認しましょう。

治療:

- ・中止していた薬がある場合は、開始日の確認をして下さい。
- ・定期的に外来通院をして下さい。

説明:

- ・病棟で預かっている物や薬は返却致します。万が一、返却されていない場合は看護師へお申し付け下さい。
- ・忘れ物がないよう確認し退院して下さい。
- ・入院費の概算は退院当日に病棟責任者が病屋にお届け致します。
- ・本館1階の会計窓口又は精算機をご利用下さい。
- ・次回外来日は(/)です。詳細は予約票を参照してください。

緊急時:

- ・38度以上の熱が続く場合は病院へ連絡し確認するか、受診をして下さい。
- ・緊急時や不安、疑問がありましたら平日9時～16時までは泌尿器科外来へ、休日や祝日、夜間は救急外来へ連絡または受診するようにして下さい。



日本医科大学付属病院
(03)3822-2131